

# 次世代通信関連 世界株式戦略ファンド 愛称:THE 5G

追加型投信／内外／株式



ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

◆投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お申込みは



**池田泉州TT証券**

商 号 池田泉州TT証券株式会社  
金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号  
加 入 協 会 日本証券業協会

◆設定・運用は



**三井住友トラスト・アセットマネジメント**

商 号 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号  
加 入 協 会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

# 5G は私たちの 未来の生活を彩る通信技術

1980年代から急速に発展を遂げた通信技術。

外出先で電話する、メールする、動画を見ることを可能にしてきました。

そして現在、通信技術はさらなる発展を遂げ、あなたの未来の生活を大きく変えようとしています。

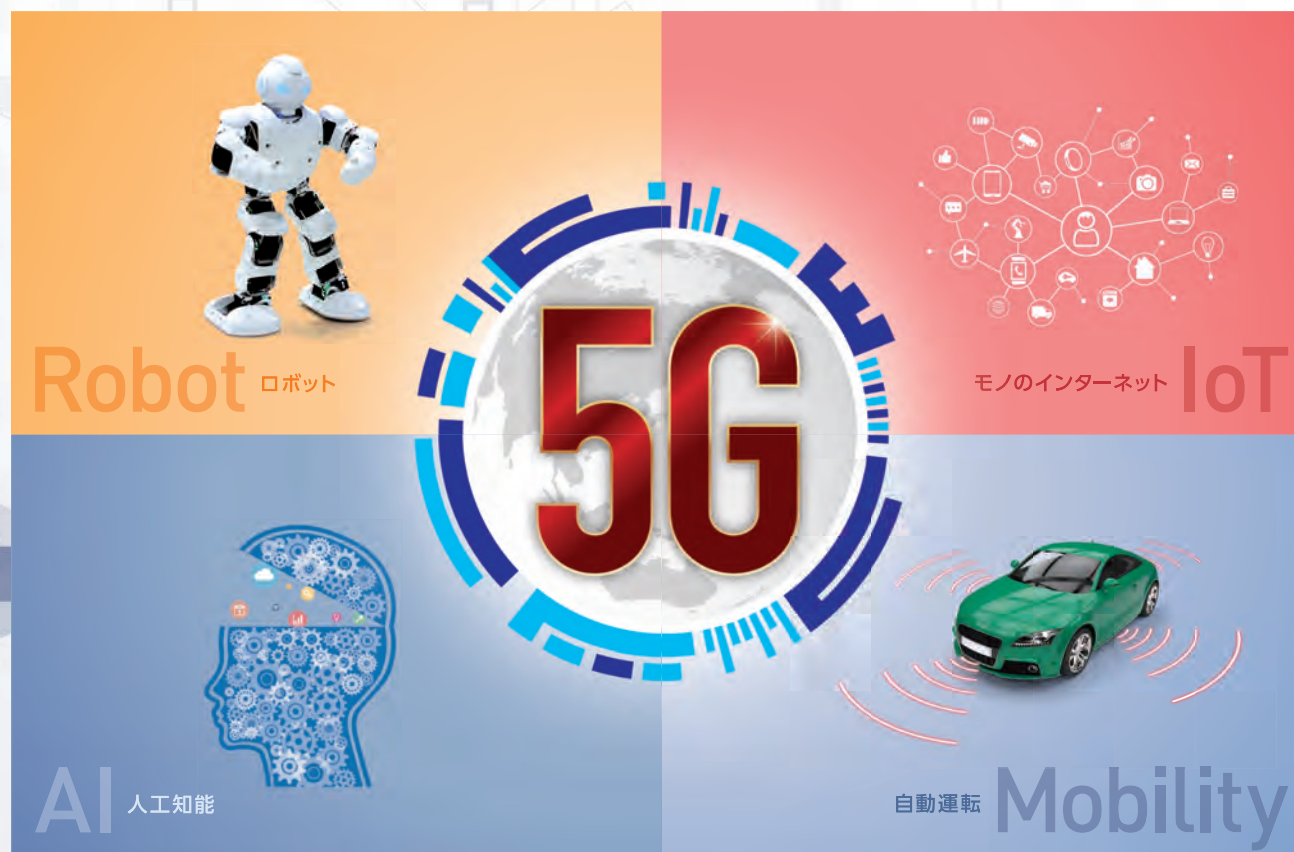
情報のやりとりをするだけであった「情報の流通網」から、あらゆる人・モノを双方向でつなぐ「社会の神経網」へ。

**THE 5G** は“5G”（第5世代移動通信システム）の発展を投資のチカラに変え、中長期的な成長を目指すファンドです。



# 5Gで新しい世界が加速する

5Gはロボット、IoT\*、AI(人工知能)、自動運転を進化させる通信技術、あらゆる情報技術分野において成長の可能性の根幹を担う息の長い投資テーマです



※上記はイメージ図です。

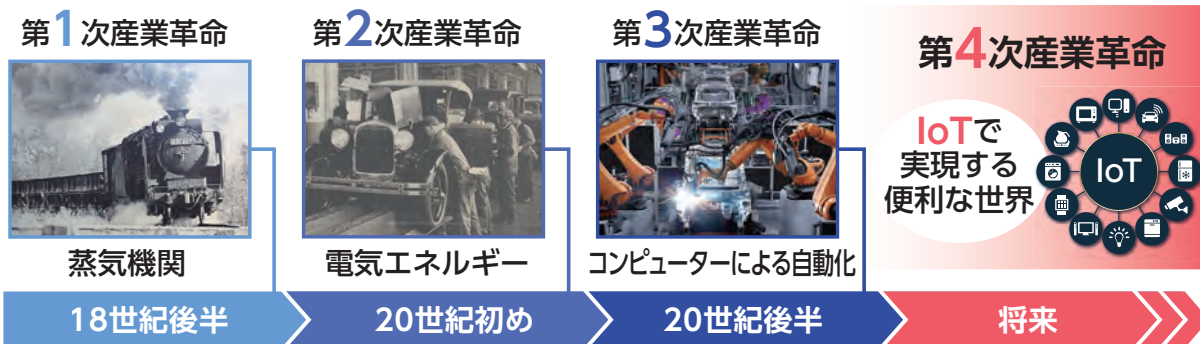
\*IoT (Internet of Things) とは

モノのインターネットと呼ばれ、世の中に存在する様々な物体(モノ)が通信機能を持ち、インターネット接続を通じて情報のやり取りが可能になることをいいます。

# 5Gで拡大するビジネス領域と期待される経済効果

私たちの生活が変化する、“**つながる革命**”は  
**大きなビジネスチャンス**をもたらします。

IoTは、「第4次産業革命」の引き金として、人々の生活や産業構造が根本から変わるほどのインパクトをもたらすとされています。



※上記は産業革命の変遷のイメージ図であり、全ての特徴を網羅したものではありません。

IoTの普及には飛躍的に増大する通信量に対応するための  
通信インフラである**5Gが必要不可欠**です。  
IoTの新たなビジネスが、  
**魅力的な投資機会を提供**します。

2025年までに5Gで拡大するIoTのビジネス領域は

最大で

約**12倍**に  
拡大!!

日本の  
経済規模の  
約2倍

約1,336兆円

【ご参考】  
2020年の名目GDP  
日本：約607兆円  
ユーロ圏：約1,565兆円

約433兆円

2020年  
(予測値)

約108兆円

2015年

2025年  
(予測値)

※IoT分野の市場規模は最大値。IoT分野の市場規模および各国・地域の名目GDP(国内総生産)は、米ドルベース値を総務省の円換算値(1米ドル≒120円)を使用して三井住友トラスト・アセットマネジメントが円換算。  
(出所)IMF(国際通貨基金)「世界経済見通し2021年10月」、Consultancy.uk and McKinsey & Company、総務省「IoT時代に向けた移動通信政策の動向」のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成



# 5Gで広がる新たな投資機会

■ 5Gにより中長期的な視点で様々な情報技術分野の新たなサービスやビジネスチャンスの拡大が期待でき、息の長い投資機会を提供するものと考えます。

## 2025年までにIoT分野が生み出す新たな市場

※赤字は各IoT分野における2025年の経済効果の予測(最大値)

### 工場

オペレーション最適化、  
予測的メンテナンスなど

444.0兆円

### オフィス

労働者モニタリング、  
エネルギーモニタリング、  
ビルセキュリティなど

18.0兆円

### ウェアラブル

疾病のモニタリング、  
管理や健康増進など

190.8兆円

### 車・ その他

自動運転、  
ナビゲーションシステム、  
追跡システムなど

190.8兆円

### 小売

自動会計、  
配置最適化、  
在庫管理など

139.2兆円

### 作業現場

オペレーション最適化、  
予測的メンテナンス、  
健康と安全など

111.6兆円

### 都市

公共の安全、  
交通操作、  
資源管理など

199.2兆円

### 家

エネルギーマネジメント、  
セキュリティ、  
家事自動化など

42.0兆円

最大で約1,336兆円まで  
拡大する見込み

(出所) 総務省「IoT時代に向けた移動通信政策の動向」のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※上記は5Gで拡大する新たなビジネス領域の全てを表したものではありません。また、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※画像はイメージです。

# 5GはIoT社会を支える基盤技術

## 5Gの導入により高速・大容量データの送受信が可能に

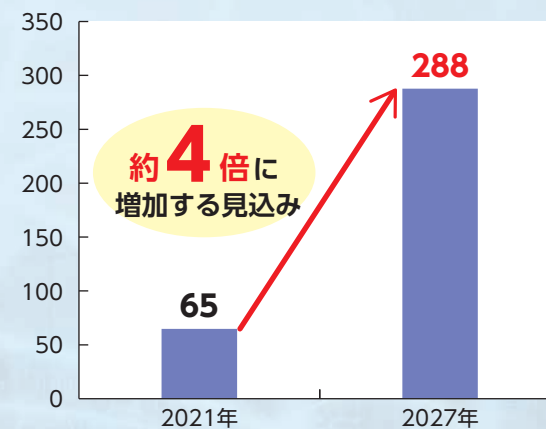
- 5Gとは、第5世代(5th Generation)移動通信システムの略称で、通信量の増加に耐えうるネットワークの高速・大容量化を目指すシステムです。
- 社会に劇的な変化をもたらすIoTの普及において不可欠な通信技術とされています。

### 移動通信システムの変遷



### 世界のモバイルデータ通信量の将来予測

(エクサバイト/月間)



※1エクサバイト=1兆メガバイト。

※エリクソン予測値。

(出所) エリクソン「Ericsson Mobility Report(November 2021)」のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

(出所) 各種資料を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※上記は移動通信システムの変遷のイメージ図であり、全ての特徴を網羅したものではありません。また、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



## 5Gは『高速・大容量』、『多数同時接続』、『超低遅延』の3つがポイント

- 5Gでは移動通信量が膨大になり、そのスピードも上がる(高速・大容量)ことで、伝達の遅れを劇的に解消(超低遅延)します。また、人を介するだけでなく、人・モノそのすべてがインターネットでつながります(多数同時接続)。

### 5Gの技術要件と5G実現で可能になるサービス例



4K/8K  
ストリーミング



AR(拡張現実)/  
VR(仮想現実)



### 1 高速・大容量

通信速度は 4Gの **100** 倍  
移動通信量は 4Gの **1,000** 倍



医療用ウェアラブル



スマートハウス



### 2 多数同時接続

多数端末との  
同時接続が飛躍的に拡大  
4Gの **100** 倍

5G

4G

技術領域が拡大



自動運転



### 3 超低遅延

映像や音声等の送信速度の  
遅れが劇的に解消  
4Gの **10分の1**

(出所) 各種資料を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※ 上記は5Gの特徴についてイメージ図を使い概要を説明したものであり、その全てを網羅したものではありません。また、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# IoTの実現により変化する未来生活

5G

## IoTの実現が社会へ与えるインパクトは大きいといわれています

- 現在、人々の生活や産業のほとんどは人を介して活動していますが、IoT実現後はさまざまな人・モノそのすべてがインターネットにつながり、人々の生活がより便利になります。

すべてがつながる“スマートシティ”人々の生活はより便利に

### 建設 無人建機の遠隔操作

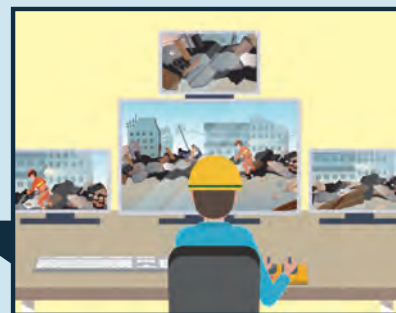
高速・大容量

多数同時接続

超低遅延



危険な災害現場の復旧も、無人建機を使って安全な場所からリアルタイムに作業



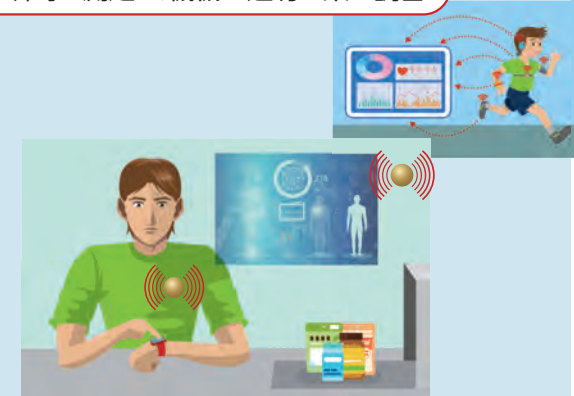
### 医療 健康管理を高度化、遠隔手術を実現

高速・大容量

多数同時接続

超低遅延

日常の個人データとセンサーによって得られる生体情報、そして天候などのデータも考慮しながら現在の健康状態を瞬時に測定し、機械が適切に薬を調合

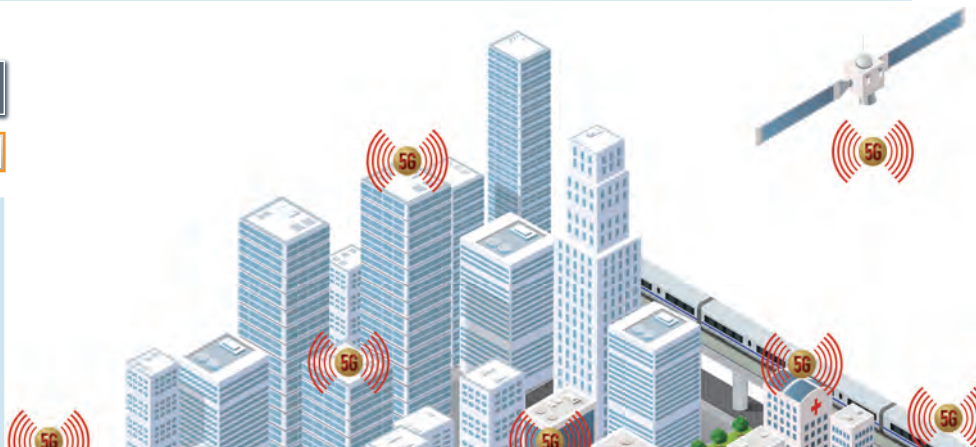
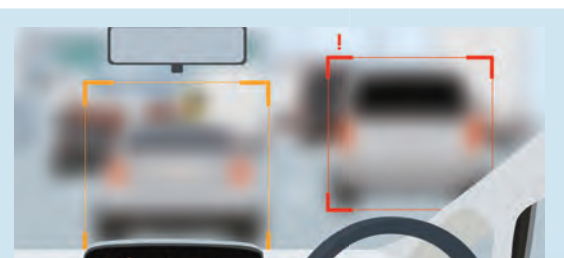


### 交通 自動運転車の普及

高速・大容量

多数同時接続

超低遅延



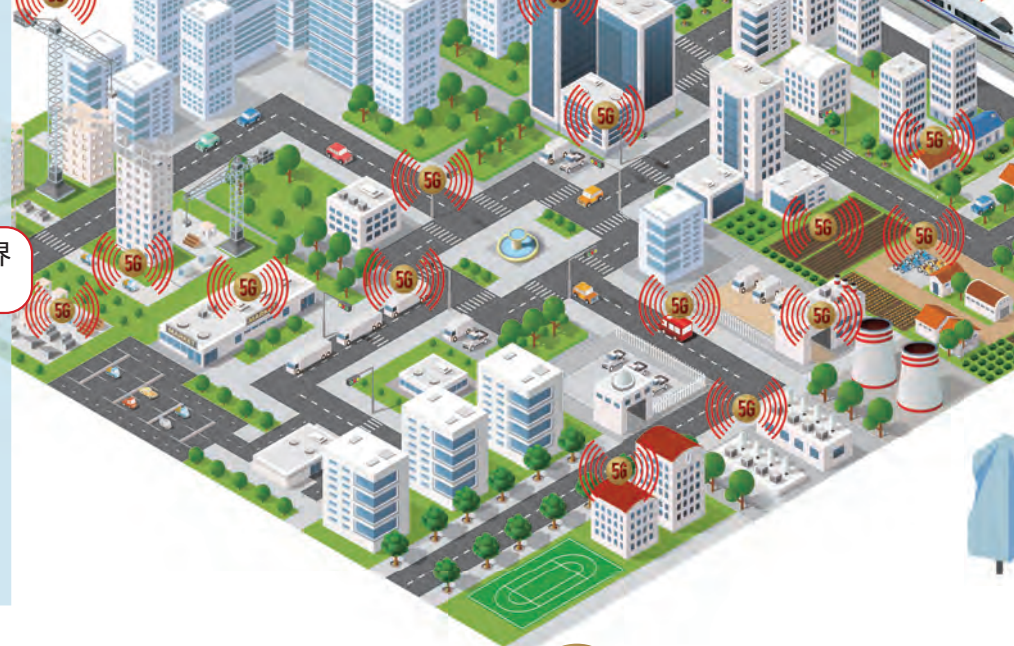
ウェアラブル端末で患者の生体情報を瞬時に測定。取得したデータをカルテに反映・共有





行き先を告げるだけで自動的に目的地まで到達。事故防止や渋滞の緩和にも

無人運転トラックの活用で物流業界の人手不足が改善

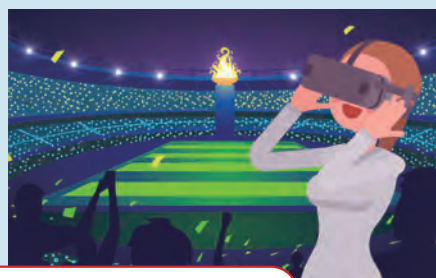


遠隔地から手術が可能になり患者の負担軽減、医療の均質化が実現



## 生活 VR(仮想現実)で体験

高速・大容量



まるでスタジアムにいるような感覚で、臨場感あふれるスポーツ観戦が可能に

自宅にいながら、まるで旅行先にいるような感覚が味わえる



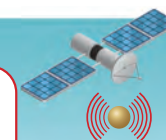
## 農業 ロボット化・自動化で効率経営

高速・大容量

多数同時接続

超低遅延

GPSなど人工衛星からの情報を基にトラクターを無人で操作



ドローンで農薬を自動散布



データを駆使した効率的な生産



# IoTを実現させる“基盤”となるものが5Gです

(出所) 各種資料を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※上記はIoTにより変化する未来生活のイメージであり、全ての特徴を網羅したものではありません。また、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。





- The diagram illustrates the three layers of the IoT ecosystem, connected by arrows indicating a flow from infrastructure to services to devices.

  - 通信インフラ関連 (Communication Infrastructure Related)**
    - 通信ネットワークの土台 (Foundation of Communication Network)**
    - Information can be connected for the purpose of making it possible to connect information.
    - 主な事業分野 (Main Business Fields)**
      - アンテナ (Antenna)
      - ネットワーク機器 (Network Equipment)
      - 光ファイバー (Optical Fiber)
  - 通信サービス関連 (Communication Services Related)**
    - モノをネットワークにつなぐ (Connecting Things to the Network)**
    - Connecting information of things and people.
    - 主な事業分野 (Main Business Fields)**
      - 無線通信 (Wireless Communication)
      - クラウド関連 (Cloud Related)
      - ソフトウェア (Software)
  - IoT機器・装置関連 (IoT Devices/Equipment Related)**
    - 情報を収集・分析 (Collecting and Analyzing Information)**
    - Technology that enables information transmission and reception of devices and equipment.
    - 主な事業分野 (Main Business Fields)**
      - センサー (Sensor)
      - レーダー (Radar)
      - IoT最終製品 (IoT End Products)

The diagram illustrates the IoT communication network structure, showing the flow of data from communication towers to various IoT devices.

**通信铁塔・アンテナ (Communication Towers/Antennas):** Two towers are shown on the left, with the text "通信を高速・大容量化するため広い周波数帯域を活用" (Utilizing a wide frequency band to achieve high-speed and large-capacity communication). A large "5G" logo is prominently displayed.

**通信ネットワーク (Communication Network):** A central globe icon represents the network, with the text "膨大なデジタルデータをスピーディーに処理、伝送" (Efficiently processing and transmitting vast amounts of digital data). Below the globe, a server rack is shown, labeled "集積されたビッグデータ" (Accumulated Big Data).

**さまざまなモノ (Various Things):** On the right, a collection of IoT devices (smartphones, smart home appliances, etc.) is shown, labeled "内蔵されたセンサーを通じてあらゆるモノから情報を収集" (Collecting information from all things through built-in sensors).

**AI、ビッグデータ (AI, Big Data):** At the bottom right, a brain icon is shown, labeled "AIがビッグデータを解析" (AI analyzes Big Data).

**Legend:** (出所) 各種資料を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成  
※ 上記はIoT通信ネットワーク網のイメージ図です。将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



### 通信ネットワークの 土台

## 大幅な通信量増加で拡大するインフラ整備需要の恩恵を享受

■通信量を増加、速度を向上させるための通信基地局（スモールセルなど）、通信設備（高度化アンテナ、光ファイバー網など）の整備が進展する見込みです。

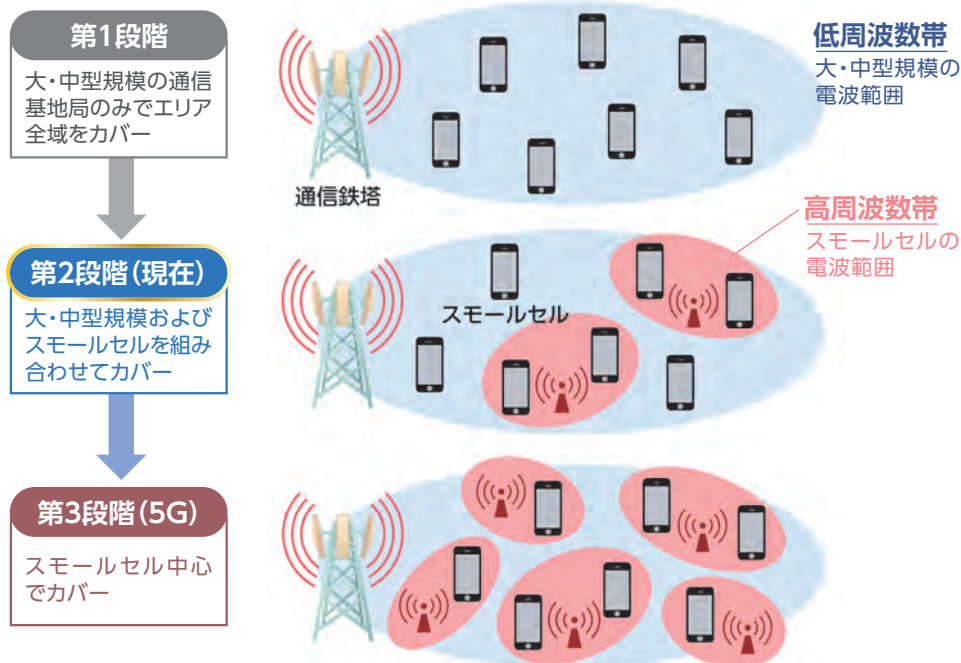


※画像はイメージです。

### 例 電波利用の混雑を緩和するための通信ネットワーク網

### スモールセル

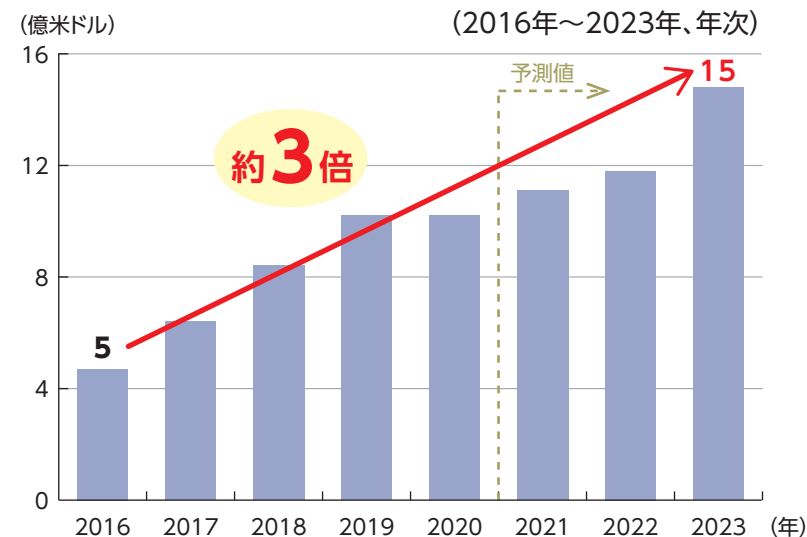
■広範囲をカバーする基地局（低周波数帯を利用）と高密度に配置された小型の基地局（スモールセル：高周波数帯を利用）を重ねて配置し、広い周波数帯域の活用を可能にすることで電波利用の混雑を緩和します。



※上記はイメージ図です。

（出所）各種資料を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

### 世界の屋内用スモールセル市場規模の推移および予測



※2021年以降は予測値。

（出所）総務省「令和3年版情報通信白書」のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

モノをネットワークに  
つなぐ

## 通信分野におけるビジネスチャンスの拡大期待

■通信ネットワーク上で膨大なデジタルデータをスピーディーに処理・伝送するための、様々な技術(クラウドサービスなど)が採用される見込みです。



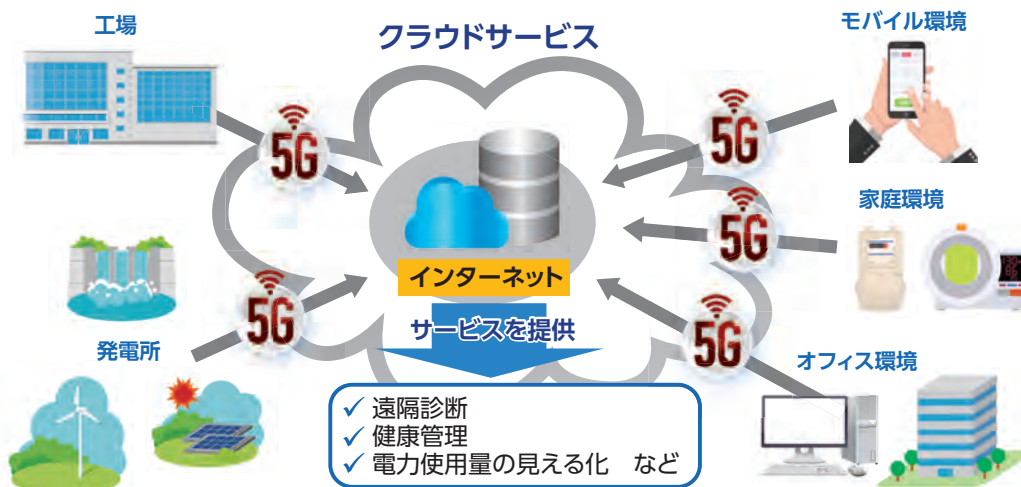
※画像はイメージです。

### 例 大量で質的にも異なる通信を柔軟に収容する技術

### クラウドサービス

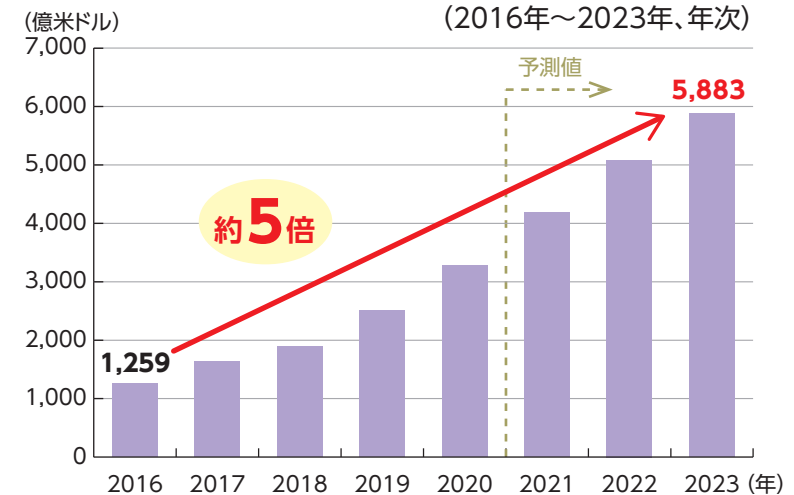
- 膨大なデジタルデータをネットワーク上に蓄積・保管し、高速な処理を可能にする技術を用いたサービスです。
- 今後IoTの実現において重要な基盤システムであり、動画などコンテンツサービスの利用増加に伴い、高成長が期待されています。

### クラウドサービスのしくみ(イメージ図)



※上記は例を挙げてクラウドサービスのしくみを表したイメージ図です。全てのサービスを網羅したものではありません。  
(出所) 各種資料を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

### 世界のクラウドサービス市場規模の推移および予測



※2021年以降は予測値。  
(出所) 総務省「令和3年版情報通信白書」のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成



### 情報を 収集・分析

## IoTの飛躍的な普及による接続機器・装置数の増加

■多種多様な大量の情報を、低コストで効率良く収集・分析する必要があるため、革新的で、競争力の高い技術が発展する見込みです。



※画像はイメージです。

### 例 超小型・軽量センサーを活用する技術 データエコノミー

■ウェアラブル端末\*や家電等に内蔵されたセンサーを通じて取り込まれる膨大な情報データをAIで解析し、商品開発などの経済活動をはじめ、街づくりから災害対策、医療、日常の生活に至るまで活用が広がる見込みです。

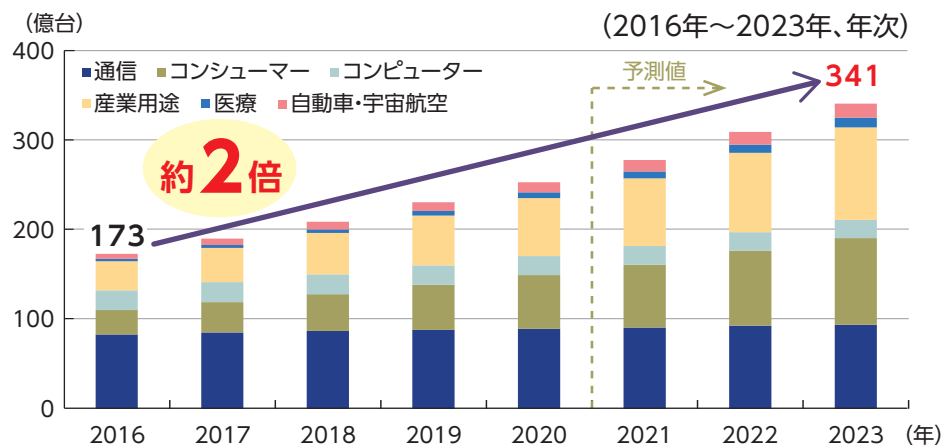
\*アップルウォッチに代表される腕や頭部など身体に装着して利用する機器

### 例 V2X(車車間・路車間通信)技術 自動運転

■V2Xは自動車と自動車、または自動車と信号機や道路標識などのインフラが、クラウドを通さず直接に相互通信する効率的な交通システムで、自動車事故の未然防止など自動運転の実現に重要な技術です。

■将来的な自動運転車の実用化により、市場の拡大が期待されます。

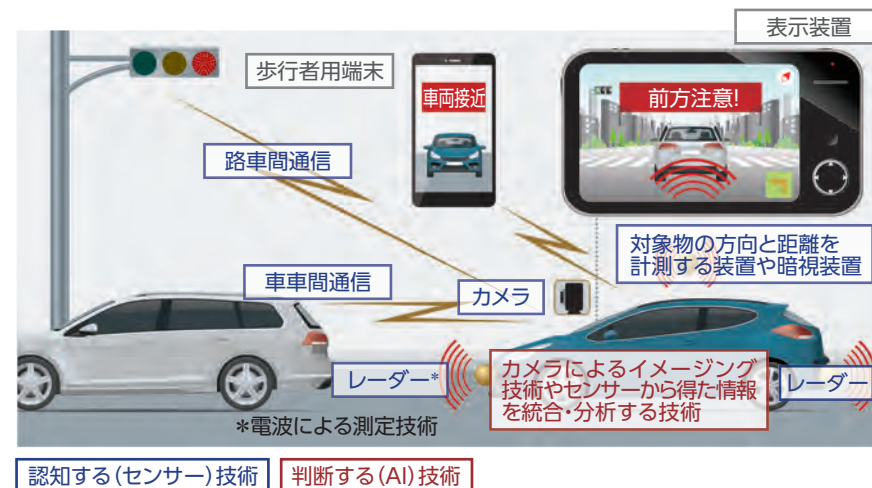
## 世界のIoT機器・装置数の推移および予測



※2021年以降は予測値。

(出所)総務省「令和3年版情報通信白書」のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

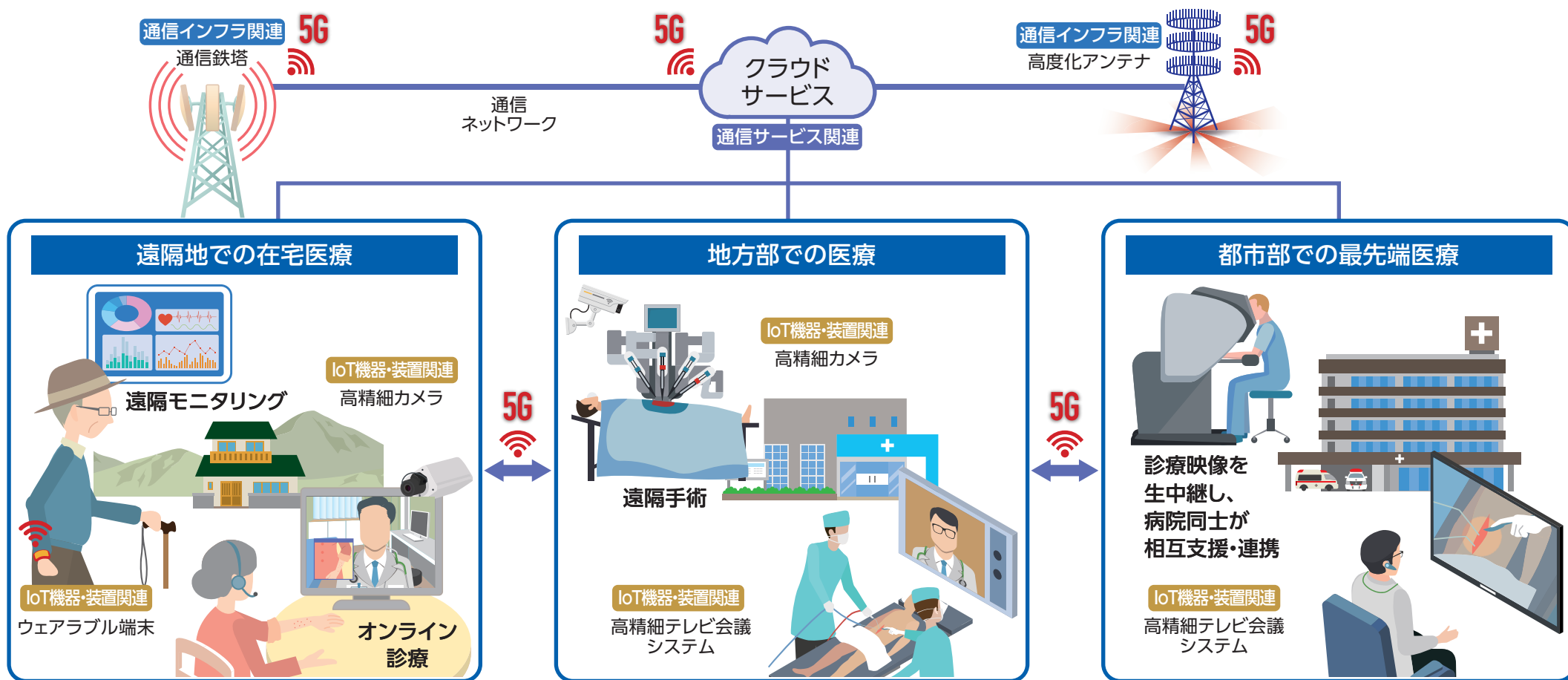
## 自動運転車のしくみ



※上記はイメージ図です。(出所)各種資料を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

## 医療業界に変革をもたらす「5G」×「AI」

- 遠出が困難な高齢者も、オンライン診療により自宅にしながら医師のアドバイスが受けられます。また、身体に装着したウェアラブル端末により薬の服用管理や健康情報の蓄積を行い、異変があれば病院へ自動的に連絡されます（遠隔モニタリング）。
- 将来的には診療映像をライブ中継した病院同士の相互支援・連携や遠隔操作によるロボット手術も可能になります。



※上記はイメージ図であり、全ての製品やサービスを表しているものではありません。（出所）各種情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成



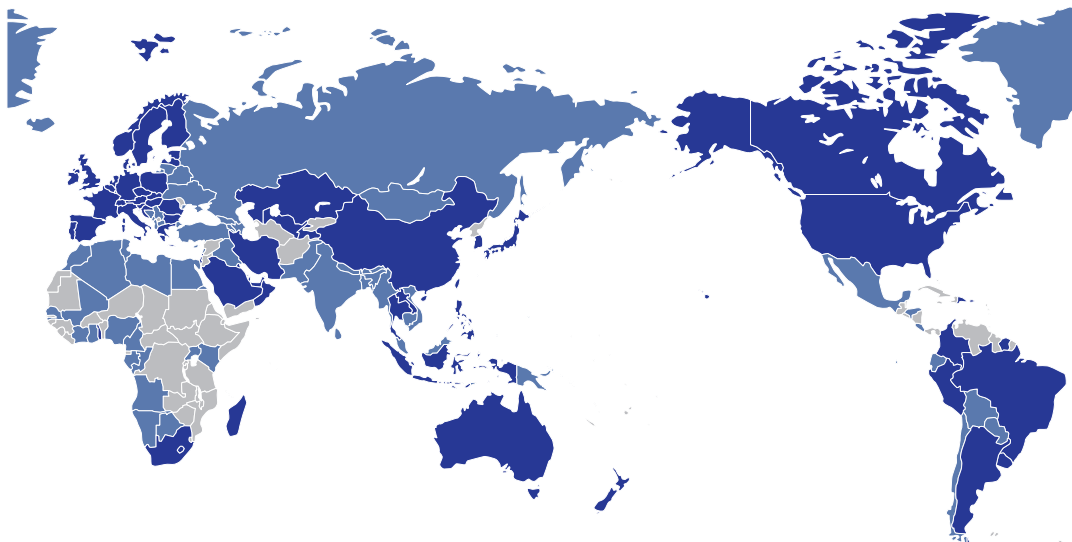
## 世界的に5G商用化が加速

- 世界的に5Gの商用サービスが本格的に始まっており、併せて5G対応端末の普及も加速しています。
- 5Gの導入・普及は先進国がけん引し、その後新興国へ広がるという観点からも、5Gは長期的に期待できるテーマであるといえます。

### 世界の5G商用化計画

世界74カ国・地域で189の通信事業者が5Gの商用サービスを提供しています。

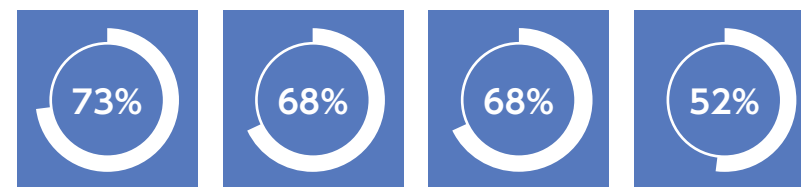
■ 5G商用化済 ■ 5G商用化予定



※上記は2021年12月16日現在の情報に基づいたものです。なお、商用化は国・地域によりカバーしている範囲が異なります。

(出所) GSA (モバイル通信端末の業界団体)「GSA 5G Spectrum, networks and devices 2021 Review」を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

### 2025年の5G回線の普及率予測



韓国



米国



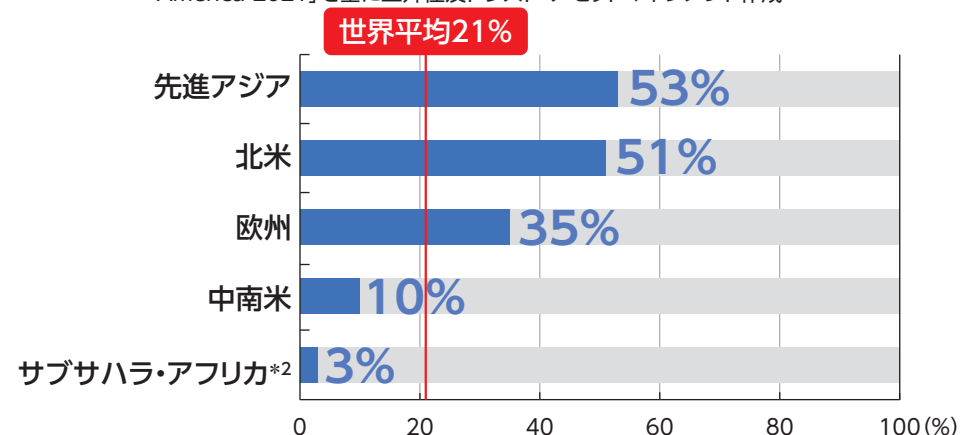
日本

中華圏\*1

\*1 中国本土、香港、マカオ、台湾。

※GSMA Intelligenceの地域分類に基づく。

(出所) GSMA Intelligence (携帯通信事業者の業界団体の調査・コンサルティング部門)「The Mobile Economy Asia Pacific 2021」「The Mobile Economy North America 2021」を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成



\*2 サハラ砂漠より南のアフリカ地域。

※GSMA Intelligenceの地域分類に基づく。先進アジアはオセアニア地域を含む。

(出所) GSMA Intelligence「The Mobile Economy 2021」を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成



## 長期的な通信技術の発展により、業績面で恩恵を受ける企業に厳選投資

1

### 世界の次世代通信関連企業の株式に投資を行います。

□主要投資対象ファンドへの投資を通じて、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場(上場予定を含みます。)している次世代通信関連企業\*の株式(預託証書(DR)を含みます。)に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。

\*次世代通信関連企業とは

当ファンドにおいては、通信技術の発展によって業績面で恩恵を受けることが期待される企業をいいます。

□ファンダメンタルズ分析を通じて、5Gのインフラ構築および通信サービス・商品や新たに生まれるビジネスを展開する企業に投資を行います。

※移動通信システムの進化等により、将来5G関連以外の企業に投資する可能性があります。

※主要投資対象ファンドを通じた組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

2

### 実質的な運用は、株式リサーチ力に強みのある ニューバーガー・バーマン・グループが行います。

□主要投資対象ファンドの運用にあたっては、株式リサーチ力に強みのあるニューバーガー・バーマン・グループのニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シーが行います。

□高度な専門性と豊富な運用経験を有するグローバル株式調査部門が徹底したファンダメンタルズ分析に基づき、投資銘柄を厳選します。

※資金動向、市況動向、信託財産の規模などによっては、上記の運用ができない場合があります。



# 5Gの推進段階に応じた銘柄選択



## 5Gの推進段階に応じた成長産業分野にフォーカスした適切な銘柄選択を行います

### 5G推進ロードマップ(予定)



### <5Gの推進段階に応じた成長産業分野のイメージ>

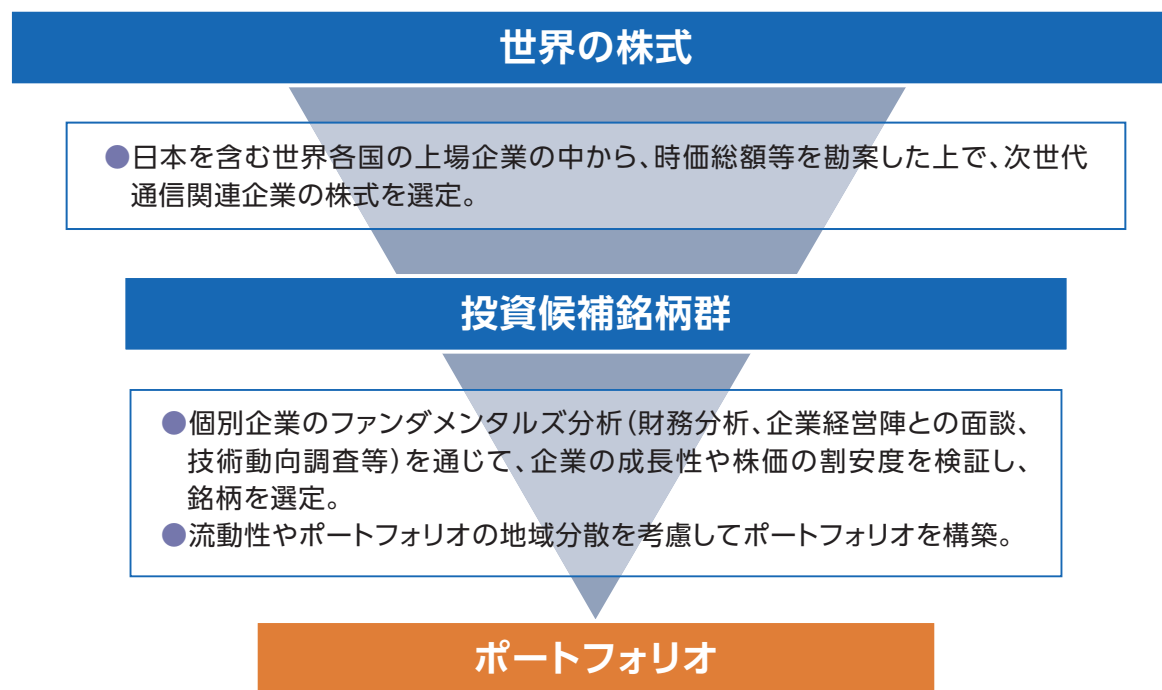


※2022年1月末現在。上記は5Gの推進段階に応じて着目される成長産業分野であり、今後変更となる場合があります。

## 徹底したファンダメンタルズ分析に基づき、投資銘柄を厳選します

- 主要投資対象ファンドの運用にあたっては、株式リサーチ力に強みのあるニューバーガー・バーマン・グループのニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シーが行います。
- 高度な専門性と豊富な運用経験を有するグローバル株式調査部門が徹底したファンダメンタルズ分析に基づき、投資銘柄を厳選します。

### 主要投資対象ファンドの運用プロセス



※2022年1月末現在。上記プロセスは、今後変更となる場合があります。  
※資金動向、市況動向、信託財産の規模などによっては、上記の運用ができない場合があります。



## 1939年創業の米国の独立系運用会社で、豊富な投資経験を有しています

NEUBERGER BERMAN



本社オフィスビル (米国ニューヨーク)

### ニューバーガー・バーマン・グループ・エル・エル・シー

- 1939年創業の資産運用会社で、米国ニューヨークに本社を置き、世界の運用拠点にて約650名の運用担当者が、世界中の機関投資家や個人投資家向けに、様々な資産運用サービスを提供しています。
- 運用総資産残高は約4,605億米ドル(約53兆円)、従業員数は約2,400名を有する独立系の資産運用会社です。

### ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー

- ニューバーガー・バーマン・グループ・エル・エル・シーの100%子会社であり、グループ内における株式、リート、債券、オルタナティブにかかわる運用部門です。
- ニューヨークを拠点に世界各地のネットワークを駆使してグローバル株式についての綿密なリサーチを実施し、機動的かつ効率的なポートフォリオ運営を行っています。

### 運用体制

#### グローバル株式調査部門

セクター別アナリスト  
51名  
平均業界経験年数17年

専任のポートフォリオ  
マネジャー

- 2,000社程度のグローバル企業を調査
- 年間1,849回の企業経営陣取材(2021年)

債券部門、  
マルチアセット部門  
と協働

主要投資対象ファンドは、51名の経験豊富なアナリストを擁するグローバル株式調査部門が銘柄選択を担当し、専任のポートフォリオマネジャーがファンドを構築する運用体制となっています。

※2021年12月末現在。運用総資産残高は、2021年12月末の為替データを基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが円換算しています。  
(出所) ニューバーガー・バーマンのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成



### 基地局向けネットワーク機器を提供する通信機器メーカー



ノキア



#### 〈事業内容と着目ポイント〉

- 自社開発のSoC(システム・オン・チップ)を搭載した基地局など5G向けの製品ラインナップを強化してきたことが奏功。世界の通信事業者に5G基地局向けネットワーク機器を提供。
- 世界各地で5Gの商用化が本格化しており、同社のネットワーク機器に対する需要が増加し、業績を押し上げる可能性に着目。

| 国・地域 | フィンランド |
|------|--------|
| 時価総額 | 約4.1兆円 |

(2021年12月末現在)



※画像はイメージです。

※時価総額:各通貨ベース(ノキア:ユーロ、マーベル・テクノロジー:米ドル)のデータを2021年12月末時点の為替データを基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが円換算。株価の推移:2018年12月末~2021年12月末(月次)。EPS(1株当たり利益)の推移:ノキアは2018年12月末~2021年11月末(月次)、マーベル・テクノロジーは2018年12月末~2021年12月末(月次)。EPS予測値:ノキアは2021年~2023年(年次)、マーベル・テクノロジーは2022年~2024年(年次)。EPS予測値は、当資料作成時点のBloomberg予測値(会計年次ベース)。

(出所)各種資料、Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。また、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### データセンターを支える半導体メーカー



マーベル・テクノロジー



#### 〈事業内容と着目ポイント〉

- SSD(半導体メモリを使った記憶装置)、ネットワーク機器、無線通信向けに強みを持つ半導体メーカー。
- 5Gへの移行でデータ通信量が大幅に増加し、データセンターの高度化が必要になるため、同社のデータセンター向け半導体に対する需要は増加する見込み。
- また、同社は光通信向けの半導体に強みを有する企業を買収するなど、データセンター顧客向けの商品提案力を強化している点にも着目。

| 国・地域 | 米国     |
|------|--------|
| 時価総額 | 約8.5兆円 |

(2021年12月末現在)



### オンラインゲームのプラットフォーマー



#### ロブックス



#### 〈事業内容と着目ポイント〉

- オンラインゲームをプレイ、制作するためのプラットフォーム「Roblox」を手掛ける。
- 多くのユーザーが集うRobloxは、仮想空間上で様々なコンテンツやサービスを提供する「メタバース」のプラットフォームとして存在感を高める。
- 5Gの普及によってメタバース上でより多くのコンテンツやサービスが提供可能となる見込み。

| 国・地域 | 米国     |
|------|--------|
| 時価総額 | 約6.9兆円 |

(2021年12月末現在)

#### 〈株価とEPSの推移〉



### 3D映像を活用したコンテンツ開発ソフトウェア



#### ユニティ・ソフトウェア



#### 〈事業内容と着目ポイント〉

- 多くのモバイルゲームが同社ソフトウェアを用いて開発されているほか、ゲーム機向けのコンテンツ開発ツールを手掛ける。
- 同社はゲーム制作会社向けだけでなく、個人向けのソフトウェアを提供しており、個人が開発したゲームの人気も高まっていることから、同社の需要拡大に期待。
- 5Gの普及により、3Dを活用したゲームや工業製品の開発が加速する可能性があり、同社業績の追い風になるものと期待。

| 国・地域 | 米国     |
|------|--------|
| 時価総額 | 約4.8兆円 |

(2021年12月末現在)

#### 〈株価とEPSの推移〉



※画像はイメージです。

※時価総額:米ドルベースのデータを2021年12月末時点の為替データを基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが円換算。株価の推移:ロブックスは2021年3月末～2021年12月末(月次)、ユニティ・ソフトウェアは2020年9月末～2021年12月末(月次)。EPSの推移:2018年12月末～2021年11月末(月次)。EPS予測値:2021年～2023年(年次)。EPS予測値は、当資料作成時点のBloomberg予測値(会計年次ベース)。

(出所)各種資料、Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

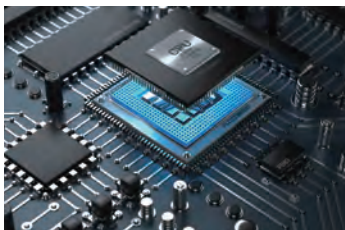
※上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。また、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



### 5Gスマートフォン向けのモデムチップに強み



#### メディアテック



#### 〈事業内容と着目ポイント〉

- スマートフォンなどのモバイル機器に搭載されるモデムチップや特定用途に特化した半導体(ASIC)に強みを持つ半導体メーカー。
- アジアの端末メーカーを中心に、5Gスマートフォン向けモデムチップで豊富な納入実績を有する。
- 5Gの本格普及と共に、5Gスマートフォンの生産台数が増加することが見込まれ、モデムチップの需要増加に伴う業績拡大に期待。

| 国・地域 | 台湾     |
|------|--------|
| 時価総額 | 約7.9兆円 |

(2021年12月末現在)



※画像はイメージです。

※時価総額:メディアテックは台湾ドルのデータを2021年12月末時点の為替データを基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが円換算。株価の推移:2018年12月末~2021年12月末(月次)。EPSの推移:メディアテックは2018年12月末~2021年11月末(月次)、アドバンテストは2018年12月末~2021年12月末(月次)。EPS予測値:メディアテックは2021年~2023年(年次)、アドバンテストは2022年~2024年(年次)。EPS予測値は、当資料作成時点のBloomberg予測値(会計年次ベース)。

(出所)各種資料、Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

※上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。また、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 半導体の性能検証に欠かせないテストを提供



#### アドバンテスト

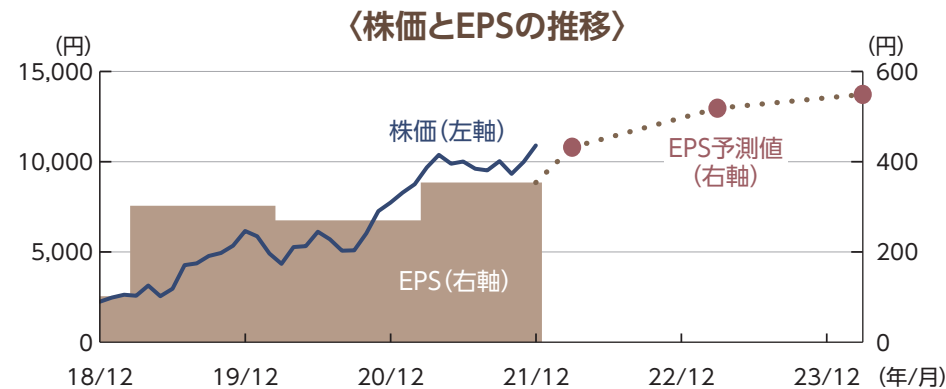


#### 〈事業内容と着目ポイント〉

- 半導体に電気的な試験を行い、設計通りに作動するかを調べるための装置「テスト」を手掛ける。先端半導体向けのハイエンド装置に強みを有する。
- 膨大なデータを高速で処理するデータセンター向け等、半導体に求められる信頼性の水準が高まっていることから、テスト工程が増加している。
- 先端半導体の需要が高まる中で半導体テストの役割は拡大しており、同社業績の追い風になるものと期待。

| 国・地域 | 日本     |
|------|--------|
| 時価総額 | 約2.2兆円 |

(2021年12月末現在)



# 主要投資対象ファンドの概要

(2021年12月末現在)

※当ファンドの主要投資対象ファンドである「Next Generation Connectivity Fund JPY Unhedged Class」の状況です。



## 特性値

|               |       |
|---------------|-------|
| 予想PER (株価収益率) | 72.6倍 |
| EPS成長率        | 29.2% |

※予想PER、EPS成長率については組入銘柄の時価総額で加重平均して算出。EPS成長率は予想EPS長期成長率(3年、年率)を使用。

\*1:ニューバーガー・パーマンの以下の基準により分類。大型株式:時価総額200億米ドル以上、中型株式:時価総額50億米ドル以上200億米ドル未満、小型株式:時価総額50億米ドル未満

\*2:ニューバーガー・パーマンの基準により分類  
※各比率は対純資産総額比、端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。

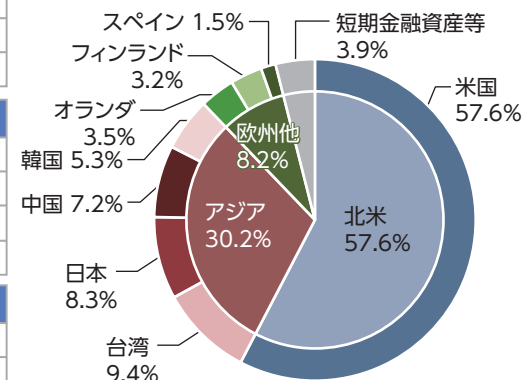
## 規模別・業種別・産業分野別構成比率

| 規模*1 | 比率    |
|------|-------|
| 大型株式 | 73.3% |
| 中型株式 | 22.7% |
| 小型株式 | 0.0%  |

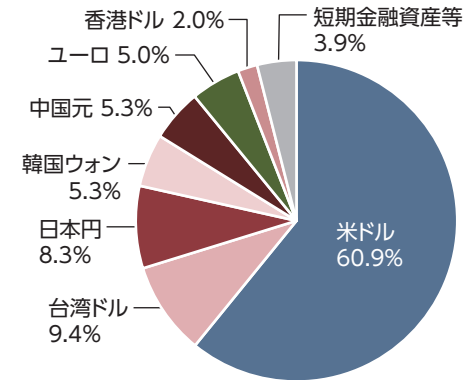
| 業種             | 比率    |
|----------------|-------|
| 情報技術           | 77.5% |
| コミュニケーション・サービス | 8.0%  |
| 資本財・サービス       | 4.0%  |
| その他            | 6.6%  |

| 産業分野*2     | 比率    |
|------------|-------|
| 通信インフラ関連   | 28.4% |
| 通信サービス関連   | 25.7% |
| IoT機器・装置関連 | 42.0% |

## 国・地域別構成比率



## 通貨別構成比率



## 組入銘柄(上位10銘柄)

|    | 銘柄名                | 比率   | 国・地域   | 通貨   | 業種   | 産業分野       | 事業内容                        |
|----|--------------------|------|--------|------|------|------------|-----------------------------|
| 1  | アドバンスド・マイクロ・デバイセズ  | 3.9% | 米国     | 米ドル  | 情報技術 | 通信インフラ関連   | サーバー向け半導体に強みを持つ半導体メーカー      |
| 2  | ノバテック・マイクロエレクトロニクス | 3.8% | 台湾     | 台湾ドル | 情報技術 | IoT機器・装置関連 | ディスプレイ用ドライバーIC(集積回路)を手掛ける   |
| 3  | ASMインターナショナル       | 3.5% | オランダ   | ユーロ  | 情報技術 | IoT機器・装置関連 | 半導体回路の基礎を形成する成膜装置に強みを有する    |
| 4  | アドバンテスト            | 3.5% | 日本     | 日本円  | 情報技術 | IoT機器・装置関連 | 半導体の性能検証に欠かせないテストを提供        |
| 5  | キーサイト・テクノロジー       | 3.5% | 米国     | 米ドル  | 情報技術 | 通信インフラ関連   | 通信状況のテスト機器に強みを持つ電子計測機器メーカー  |
| 6  | ハブスポット             | 3.3% | 米国     | 米ドル  | 情報技術 | 通信サービス関連   | オンラインマーケティングに必要なソフトウェアを手掛ける |
| 7  | マーベル・テクノロジー        | 3.3% | 米国     | 米ドル  | 情報技術 | 通信インフラ関連   | データセンターを支える半導体メーカー          |
| 8  | ノキア                | 3.2% | フィンランド | 米ドル  | 情報技術 | 通信インフラ関連   | 基地局向けネットワーク機器を提供する通信機器メーカー  |
| 9  | サービスナウ             | 3.2% | 米国     | 米ドル  | 情報技術 | 通信サービス関連   | 業務支援ソフトウェアの分野におけるグローバルリーダー  |
| 10 | モノリシック・パワー・システムズ   | 3.2% | 米国     | 米ドル  | 情報技術 | 通信インフラ関連   | アナログ・パワー半導体に強みを持つ半導体メーカー    |

組入銘柄数: 47銘柄

(出所) ニューバーガー・パーマンのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

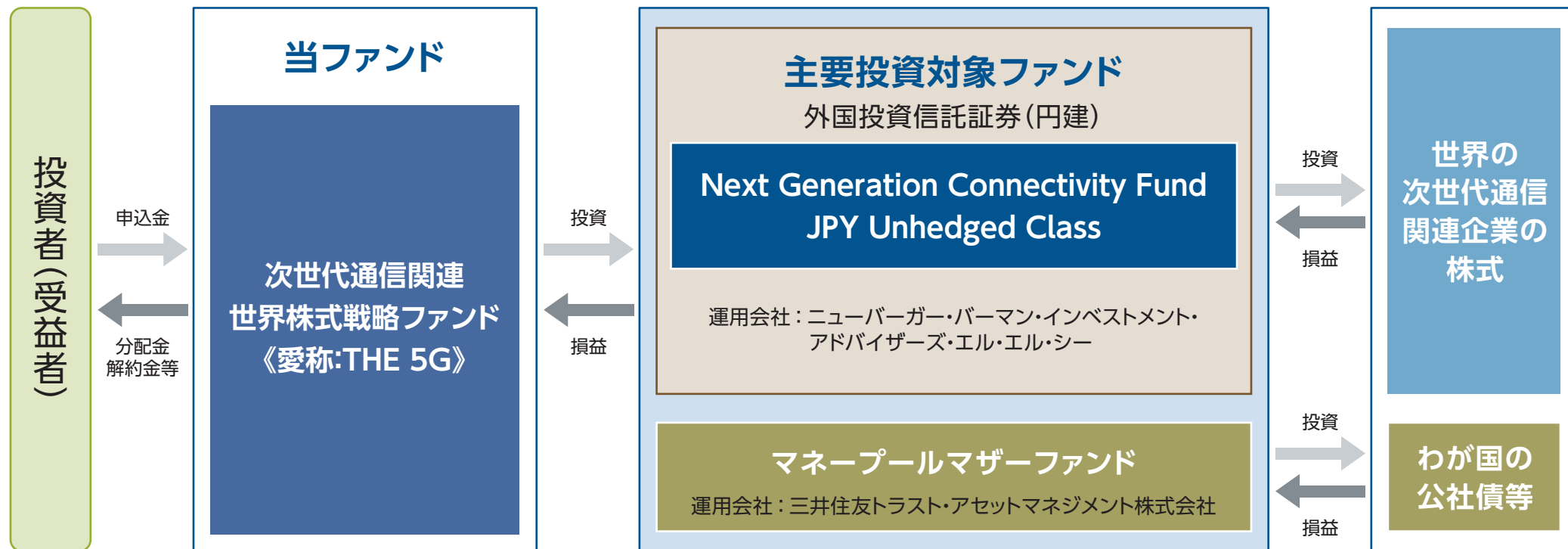
※上記は特定の有価証券への投資を推奨しているものではありません。また、今後当ファンドが当該有価証券に投資することを保証するものではありません。  
過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# ファンドのしくみ、分配方針



## ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います

### 投資対象ファンド



### 分配方針

年1回、毎決算時に分配金額を決定します。

- 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。



# ファンドの投資リスク



ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様へ帰属します。投資信託は預貯金と異なります。**

|               |                                                                                                                                               |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 株 価 変 動 リ ス ク | 株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。                                                           |
| 為 替 変 動 リ ス ク | 為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。                                                                        |
| 信 用 リ ス ク     | 有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、またはそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。                       |
| テーマ型運用に係るリスク  | ファンドは、特定のテーマに関連する企業の株式を選別して組み入れますので、市場全体の値動きと比較して、基準価額の変動が大きくなる可能性があります。                                                                      |
| カントリーリスク      | 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。また、新興国への投資は先進国に比べ、上記のリスクが高まる可能性があります。 |
| 流動性リスク        | 時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。                       |
| 金利変動リスク       | 債券の価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。また、発行者の財務状況の変化等およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。債券価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。                         |

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の換金申込が発生し短期間で換金代金を手当てする必要がある場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止、取り消しとなる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

# お申込みメモ、ファンドの費用



## お申込みメモ

|              |                                                                                                                                                       |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 信託期間         | 2017年12月15日(設定日)から2028年1月7日までとします。                                                                                                                    |
| 決算日          | 毎年1月7日(休業日の場合は翌営業日)                                                                                                                                   |
| 収益分配         | 年1回、毎決算時に分配金額を決定します。<br>分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないことがあります。<br>※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。                             |
| 購入単位         | 販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。                                                                                                                |
| 購入価額         | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。                                                                                                                                |
| 換金単位         | 販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。                                                                                                                |
| 換金価額         | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。                                                                                                                                |
| 換金代金         | 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。                                                                                                                    |
| 申込締切時間       | 原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。                                                                                                                            |
| 購入・換金申込受付不可日 | 申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。<br>(休業日については、委託会社または販売会社にお問い合わせください。)<br>・ニューヨーク証券取引所の休業日<br>・香港証券取引所の休業日<br>・ニューヨークの銀行休業日<br>・ロンドンの銀行休業日 |
| 課税関係         | 課税上は株式投資信託として取り扱われます。<br>公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。                                                                               |

## ファンドの費用

### ▼お客様が直接的にご負担いただく費用

|         |                                                             |
|---------|-------------------------------------------------------------|
| 購入時手数料  | 購入価額に販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額とします。<br><b>(上限3.3%(税抜3.0%))</b> |
| 信託財産留保額 | <b>ありません。</b>                                               |

### ▼お客様が間接的にご負担いただく費用

| 運用管理費用(信託報酬)  |                                                                                                                                                                                          |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当ファンド         | 純資産総額に対して年率1.188%(税抜1.08%)<br>支払先ごとの配分と主な役務は以下の通りです。                                                                                                                                     |
|               | 委託会社 年率0.33%(税抜0.3%)<br>◇委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価                                                                                                                                    |
|               | 販売会社 年率0.825%(税抜0.75%)<br>◇運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価                                                                                                                       |
|               | 受託会社 年率0.033%(税抜0.03%)<br>◇運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価                                                                                                                                       |
| 投資対象とする投資信託証券 | 純資産総額に対して年率0.66%程度<br>◇投資対象とする投資信託証券に係る信託財産の運用、基準価額の計算、運用財産の管理等の対価                                                                                                                       |
| 実質的な負担        | 純資産総額に対して <b>年率1.848%程度(税抜1.74%程度)</b><br>※この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入れ状況により変動します。                                                                                                          |
| その他の費用・手数料    | 監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用等をその都度(監査費用は日々)、ファンドが負担します。この他、投資対象とする投資信託証券においては、当該投資信託証券の信託報酬とは別に、投資信託財産に関する租税や、投資信託の運営・運用等に要する諸費用が発生します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。 |

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

# 委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社：三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社[ファンドの運用の指図]  
ホームページアドレス <https://www.smtam.jp/>  
フリーダイヤル 0120-668001(受付時間:営業日の午前9時～午後5時)
- 受託会社：三井住友信託銀行株式会社[ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社：当ファンドの販売会社については委託会社にお問い合わせください。  
[募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]



## 「THE 5G」特設サイトのご案内

5Gに関する情報を  
随時配信しています



5Gマスコットキャラクター「メル」

※「メル」は三井住友トラスト・アセットマネジメントの5Gマスコットキャラクターです。



三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

「THE 5G」特設サイト

スマートフォンで左記コードを読み取るかアドレスを入力してアクセスしてください。  
<https://www.smtam.jp/special/5g/>

5G 関連情報を配信しています

友だち追加は  
こちらから!



公式アカウント  
「THE 5G」



「友だち追加」画面より上記コードを選択し、読み取り後に「追加」をタップしてください。

※LINEご利用設定は、お客様のご判断でお願いします。

※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ三井住友トラスト・アセットマネジメントHPの「ソーシャルメディアご利用規約」をご確認ください。



#### ◆Morningstar Award “Fund of the Year 2020”について

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型(グローバル) 部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド579本の中から選考されました。

#### 【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。